

～社会が抱える問題の本質を古典から考える～

アスペン現代社会セミナー

2020年度テーマ：

社会秩序とクライシス

我々が生き、我々の日々の活動を取り巻く現代社会は、ポピュリズム、保護主義の台頭、格差の拡大、パンデミック等、様々な問題に直面しています。このような問題をどのように理解し、どう対処して未来につなげていくのか。

アスペン現代社会セミナーは、人間とは何か、よい社会とは何か、リーダーとしてよく生きるとは、というアスペン・セミナーの精神を大切にしつつ、特に「社会と組織の中に生きる人間」に焦点を当て、東西の古典をテキストに、対話を通じて現代社会が抱える問題の本質を考えていきます。

その目標は、リーダーとして活躍される方々が、高い視座からの洞察力を涵養し、また人間性（ヒューマニティ）の理解へのたゆまぬ努力を通じて、日常的でないものにぶつかったとき、即座に適切に対応できる賢慮と実践知を育むところにあります。



プログラム・ディレクター 兼 リソース・パーソン

猪木 武徳 先生

大阪大学 名誉教授

一般社団法人日本アスペン研究所 理事

京都大学経済学部卒業。マサチューセッツ工科大学大学院博士課程修了。大阪大学教授・経済学部長、国際日本文化研究センター所長などを経て、現職。

著書に『経済思想』、『自由と秩序』、『増補 学校と工場』、『経済成長の果実』、『戦後世界経済史』、『自由の思想史』他。

【開催日】 2021年2月26日（金）～2月28日（日）

【会場】 クロス・ウェーブ府中

<https://x-wave.orix.co.jp/fuchu/access/index.htm>

【セミナーの特長】

経済学、政治学、経営学の分野における優れた講師陣、そして元経営者が通して対話に参加します。膝詰めの多面的な対話を通して、深い気づきを得ていただけるものと確信しております。

また、すでにアスピンの各種セミナーに参加された方にとっては、「アスピン現代社会セミナー」は、古典との対話の経験が、現代の課題とより具体的に結びつき、さらに深い思索へと導いていく大きな原動力になるものと考えます。

【対象】

これからの経営の中核を担う方々や経営幹部、経営戦略/企画部門責任者、NPO 幹部等を募ります。既にアスピン・セミナーに参加された方々も歓迎いたします。対話という性質上、原則 20 名とさせていただきます。

【スケジュール】（予定）

	1日目 2月26日(金)	2日目 2月27日(土)	3日目 2月28日(日)
朝食			
午前の部		8:30~11:50 セッションⅡ 「デモクラシー」	8:30~10:50 セッションⅢ 「市場と組織」
昼食			11:15~12:20 セッションレビュー
午後の部	13:00~14:20 オープニング・セッション 自己紹介 オリエンテーション	13:00~13:45 つづき 13:45~14:50 セッションレビュー	13:00~15:00 総括セッション
	14:30~17:50 セッションⅠ 「ヒューマニティ」	自主研修 15:30~18:30 懇話会	
	18:05~19:10 セッションレビュー		
	19:20~20:50 夕食	19:00~20:30 夕食	

【テキスト】

アリストテレス『ニコマコス倫理学』、アダム・スミス『道徳感情論』、福澤諭吉『文明論之概略』、プラトン『国家』、ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』、マックス・ヴェーバー『職業としての政治』、フリードリヒ・A・ハイエク『法と立法と自由Ⅲ 自由人の政治的秩序』、ケインズ『自由放任の終わり』、アンドリュー・カーネギー『富の福音』などの作品からそれぞれ抜粋した全 12 テキストです。

【これまでに交わされた主な論点】

- ・ 思慮とは行為を伴うものであり、単に思索を巡らせることと、行動することには大きな溝がある。溝を越えるには、感情を陶冶することが必要ではないか。
- ・ 習慣は人間を強かに支配するが、道徳規範の根源である場合もあり一概に否定できない。習慣はどこまで変えてよいのか。
- ・ 現代社会において、スミスのいう「同感」がマヒしていないだろうか。また「同感」の範囲は、どこまで広げられるだろうか。
- ・ デモクラシーを健全なものとするには、関心のある情報だけを求めるのではなく、嫌な情報にも耐える力が必要ではないか。
- ・ アメリカを考えるうえで重要なのは、日本というより、アメリカの方が特殊な国であるということ。

【モデレーターおよびリソース・パーソン】

「モデレーター」は、参加者間の対話を活性化すると同時に、対話の流れを適切な方向に導きます。「リソース・パーソン」は、各専門の立場から対話の質を高め、実り多いものとするため、節度ある助言を行います。猪木武徳先生に加えて、次の方々に全セッションにご参加いただきます。



高橋 文郎 氏

(青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授)

1977年東京大学教養学部教養学科卒業、1982年ペンシルベニア大学ウォートンスクール経営学修士、株式会社野村総合研究所等を経て、2004年青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授、2007年～2015年同研究科研究科長。専門は、企業財務論、証券投資論、ベンチャー投資論、企業倫理。

著書：『ビジネスリーダーのフィロソフィー』、『コーポレート・ファイナンスー基礎と応用ー』など。



堂目 卓生 氏

(大阪大学総長補佐、同大学院経済学研究科教授)

1983年慶応義塾大学経済学部卒業、1988年京都大学経済学研究科博士課程単位取得退学、1996年大阪大学助教授、2000～2001年ロンドン大学客員研究員、2001年大阪大学教授(至現在)。専門は、経済思想史。

著書『アダム・スミスー《道德感情論》と《国富論》の世界』で、2008年度サントリー学芸賞(政治経済部門)を受賞。



野口 雅弘 氏

(成蹊大学法学部教授)

1993年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、2001年同大学院政治学研究科博士課程単位取得退学、2003年ボン大学大学院哲学部で博士号取得。早稲田大学政治経済学部助教、岐阜大学教育学部准教授、立命館大学法学部教授を経て、2017年成蹊大学法学部教授(至現在)。著書：『付度と官僚制の政治学』、『マックス・ウェーバーー近代と格闘した思想家』など。翻訳：ウェーバー『仕事としての学問 仕事としての政治』など。



雨宮 寛 氏

(元東京海上ホールディングス株式会社代表取締役副社長)

1973年一橋大学法学部卒業、東京海上火災保険株式会社入社、2003年同社執行役員経営企画部長、2005年同社常務取締役、2008年東京海上ホールディングス株式会社専務取締役、2010年同社取締役副社長(代表取締役)、2013年損害保険料率算出機構専務理事、2015年同機構退任。

【対話の進め方および事前準備について】

『対話(ダイアログ)』は、議論やディベートとは異なり、テキストの特定の箇所に対する『気づきや洞察(見方や考え方)』をご発言いただき、モデレーターがリードし対話を進めます。また、セッションレビューや総括セッションでは、各テキストのポイントを共有し、**現実的課題への思索の糧**にさせていただきます。そのためには、事前の読み込みが大変重要になります。自分なりの考えなどを意識しながらテキストを読み込んでいただきます。さらに、可能であれば、著者の主張について、その背景や理由などを調べると読み込みの助けになります。

【懇話会】 <2日目午後に予定>

講演者：堂目 卓生 先生 大阪大学総長補佐、同大学院経済学研究科教授

懇話会題目：分断の時代を乗り越えるー共感社会をめざして

《要旨》



概要：経済のグローバル化が進む中、その反動として、一国主義的な言説や政策が見られるようになった。また、新型コロナウイルスの世界的拡大により、国と国、組織と組織、個人と個人は、それまでのつながりを断ち切られることになった。こうした分断の時代の中、私たちは人と人とのつながりを回復し、人類の危機に立ち向かわなければならない。本懇話会では、近代の黎明期において「共感」の重要性を強調したアダム・スミスを出発点に、共感社会を構想した思想家をとりあげ、私たちがめざすべき社会を考察する。

講演者：猪木 武徳 先生 大阪大学 名誉教授／一般社団法人日本アスペン研究所 理事

懇話会題目：共感社会における危機対応

《要旨》



正義のルールが守られる限り、市場機構は自生的な秩序をもたらすという命題は、経済学の教えるところである。しかしその秩序をかく乱させる要因は社会内部にも外部にも存在する。その要因が根深く、衝撃が甚大である時、人々はそれを「危機」と捉え、「改革」が不可避であるとする。実際、「改革」への渴望は、古代ユダヤ・キリスト教思想の中心を占めていたと言っても過言ではない。『終わりは近づいているのに、まだなされるべき決定が行われていない』という危機意識だ。

社会や国家というレベルだけではなく、現代の企業組織においても、「例外状態」が発生した時、誰が、どのように判断すべきかという問題が存在する。経済活動という日常行為(ordinary business)においても、(危機とは言わないまでも)異常と変化は必ず起こる。「異常と変化へ対応」する能力が企業全体の生産性を強く規定するという視点から、ダニエル・デフォー『ペスト年代記』も参考にしながら、人間の共感力と危機における対応能力の問題を考えたい。

【参加料金】

正会員企業、フェローズ会員	:	27万円/人	
賛助会員企業、アспенセミナー卒業生	:	29万円/人	
非会員企業	:	31万円/人	(各税別)

【お支払方法】

参加確定後、請求書をご送付いたします。請求書に記載の期日までにお振込みください。

【テキスト送付時期】 ご参加確定後ただちに送付いたします。

【キャンセルについて】

お申込み後キャンセルされる場合につきましては、以下のとおりキャンセル料金を頂戴いたしますので、ご了承ください。

【キャンセル料金】

参加確定通知後テキスト発送済みの場合	¥30,000(税別)
セミナー開催 45 日前～開催 8 日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の 3 割(税別)
セミナー開催 7 日前～開催 2 日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の 4 割(税別)
開催日前日および開催日当日	参加料金の 5 割(税別)

※参加確定通知後テキスト未発送の場合は、2 万円(税別)を申し受けます。

※本セミナーは、事前に多量のテキストをお読みいただいたうえでご参加いただけます。そのため、キャンセルが発生しても追加募集することが難しいこと、また外部施設を会場としていることもあり、施設に対する違約金も発生することから、お客様のご都合によるキャンセルには、上記のようなキャンセル料金を設定させて頂いております。何卒ご了承ください。

【お申込み方法】

お申込み用サイト: <https://urlzs.com/EdfPU>

または、添付の申込書に必要事項をご記入の上、

メール: ag-s@aspeninstitute.jp/FAX: 03-3405-1668 宛てお送り下さい。

※ 原則定員 20 名とさせていただきます。ご参加確定につきましては、申込み締切後にご連絡致します。

※ 万が一お申込み多数の場合は、誠に恐れ入りますが、会員企業および先着優先にて受付させていただきます場合がございますのでご了承くださいませ。

※ また、同一企業からのご参加は、人数を制限させていただく場合がございます。

一般社団法人日本アспен研究所(渡辺・橋本)
〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル2階
E-mail: ag-s@aspeninstitute.jp / TEL: 03-6438-9208